

KEEP CLEAN(除菌・消臭・抗ウイルス液)

消臭効果試験

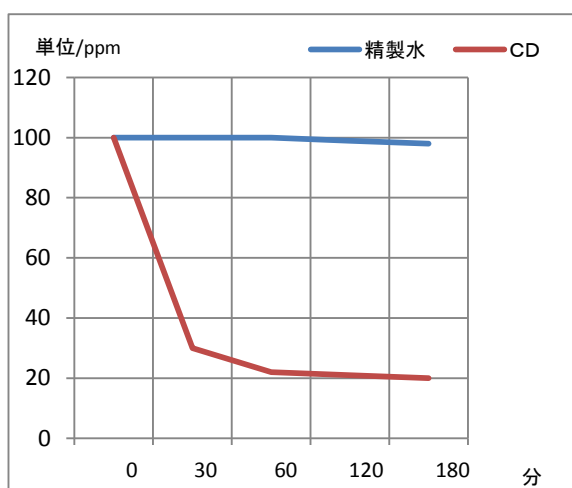
試験手順

KEEP CLEAN、1mLを臭い袋(ポリフッ化ビニル製)に入れた後、空気3Lと各種ガス成分を封入した。その後、所定時間毎に臭い袋内のガス濃度をガス検知管により測定した。尚、試験対象として、におい袋に検体以外に何も入れていない場合と水 1mLを添加した場合についても、同様に試みた。

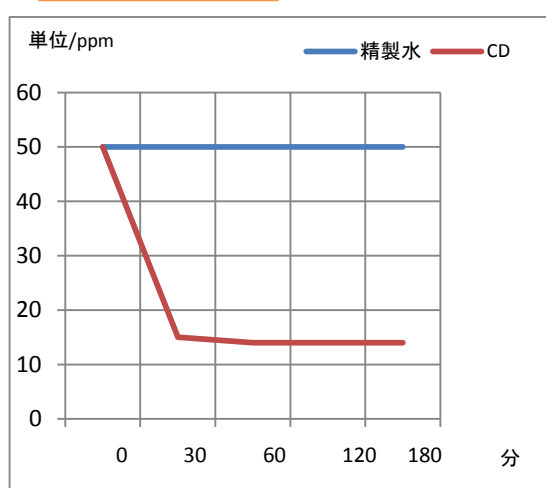
結果

KEEP CLEANは硫化水素、メチルメルカプタン、アンモニア、およびトリメチルアミンに対して消臭効果を示すことが明らかとなりました。

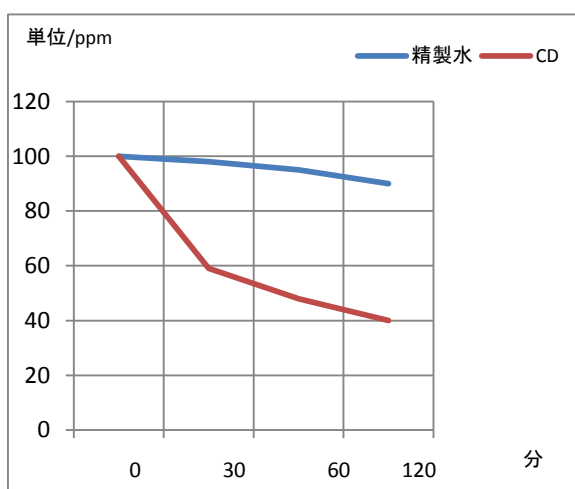
硫化水素



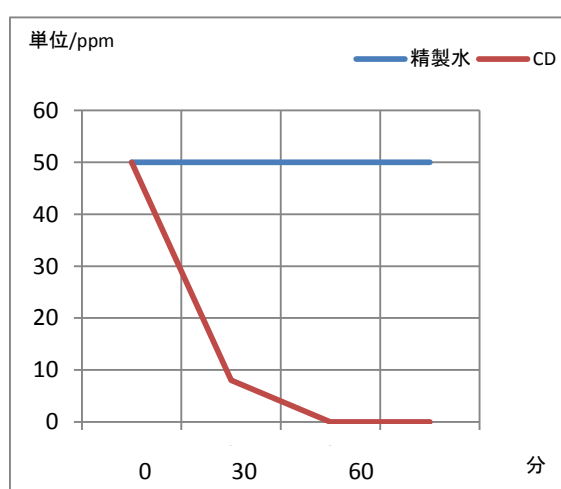
メチルメルカプタン



アンモニア



トリメチルアミン



* 試験: 日本食品分析センター
(原料メーカー提供)

KEEP CLEAN

除菌効果試験

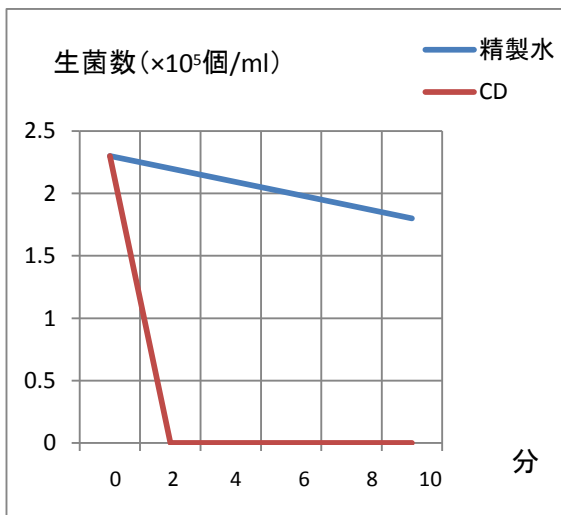
試験手順

KEEP CLEAN、10mLに菌液0.1mLを添加、混合後、20°Cで30秒、1分、2分、10分作用後にSCDLP培地を用いて直ちに10倍に希釈した。この希釈液の生菌数を、SCDLP A培地を用いた混釈平板培養法により測定し、試験液1mL当たりに換算した。また、精製水を対照の試験液とし、菌液添加直後及び30分後に生菌数を測定した。

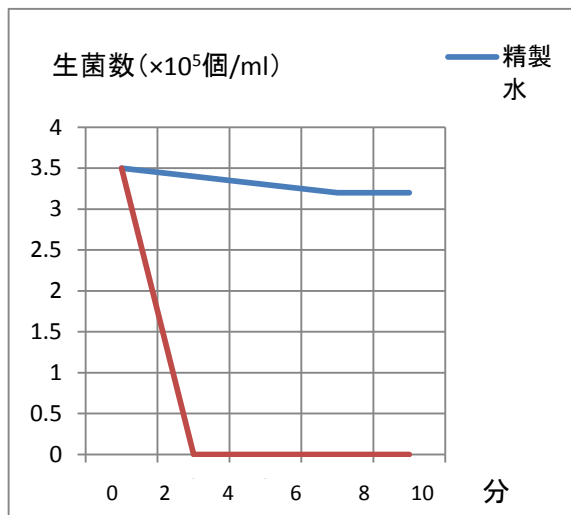
結果

KEEP CLEANは、大腸菌、黄色ブドウ球菌、および緑膿菌を30秒以内に死滅させることが明らかとなりました。

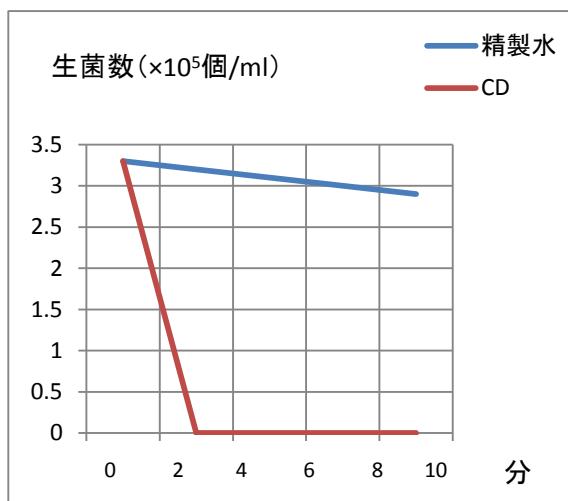
大腸菌



黄色ブドウ球菌



緑膿菌



* 試験: 日本食品分析センター
(原料メーカー提供)

KEEP CLEAN

ウイルス不活化試験

試験手順

KEEP CLEAN, 1mLにウイルス浮遊液0.1mLを添加、混合後、温室で30秒、1分、2分、10分、30分作用後に細胞維持培地を用いて直ちに希釈した。この希釈液をウイルス感染細胞に接種、培養後、細胞の形態変化の有無を観察し、50%組織培養感染量(TCID₅₀)を算出して作用液1mL当たりのウイルス感染価に換算した。

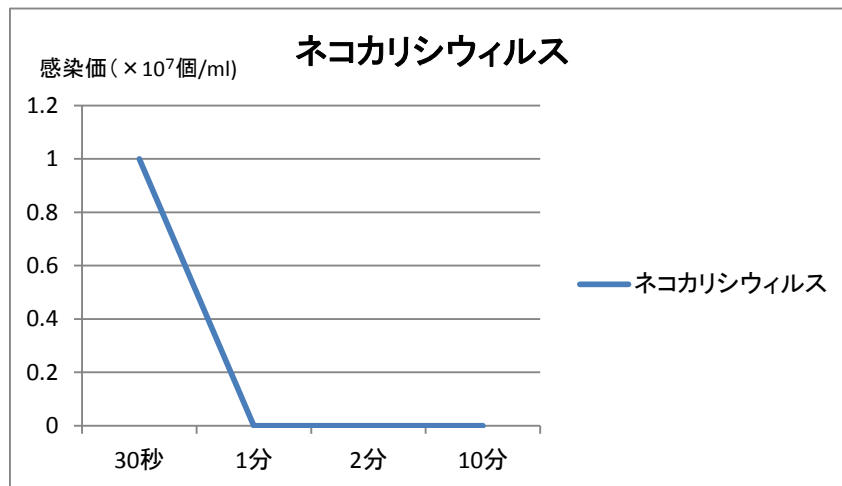
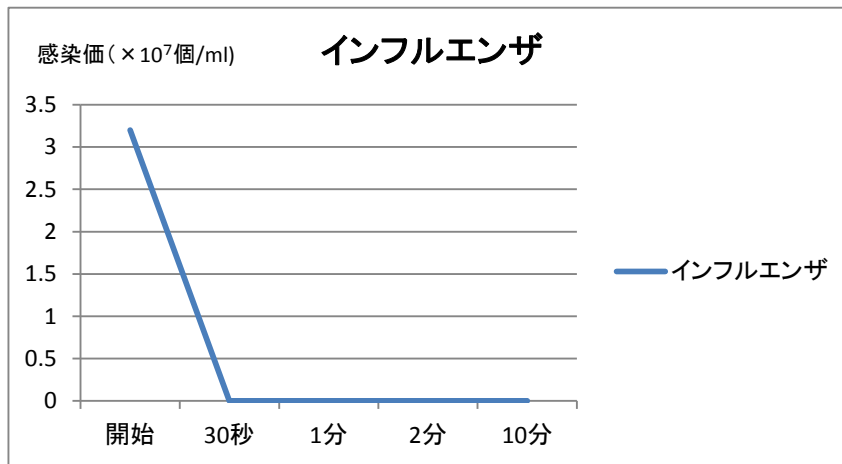
結果

KEEP CLEANはインフルエンザウイルスとネコカリシウイルス(ノロウイルスの代替)を30秒以内に不活化させることが明らかとなりました。

試験ウイルス	対象	感染価(TCID ⁵⁰ /mL)				
		開始時	0.5分後	1分後	2分後	10分後
インフルエンザウイルス	KEEP CLEAN	3.2×10^7	検出限界以下 [☆]	検出限界以下 [☆]	検出限界以下 [☆]	検出限界以下 [☆]
ネコカリシウイルス	KEEP CLEAN	1.0×10^7	1.0×10^3	1.6×10^3	1.0×10^3	3.2×10^2

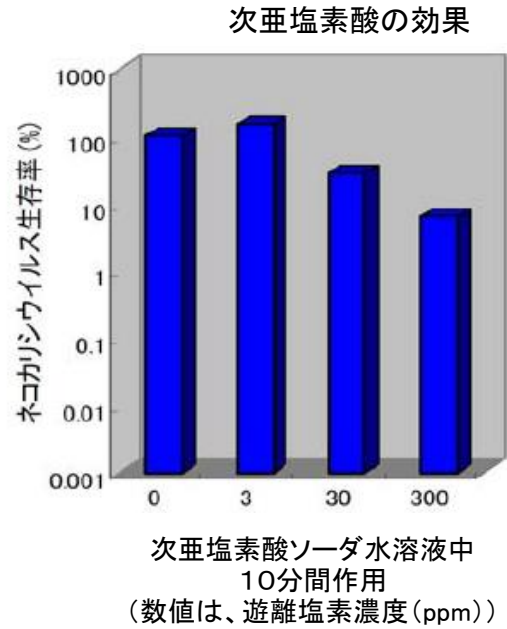
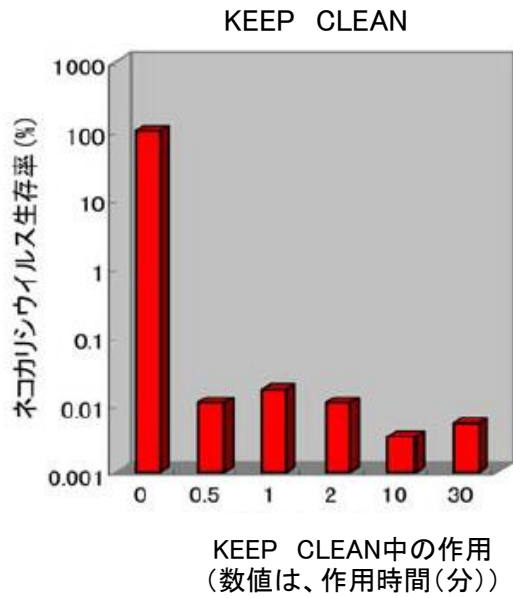
☆: 3.2×10^2 以下

試験: 日本食品分析センター(原料メーカー提供)



KEEP CLEAN

次亜塩素酸との効果比較



ネコカリシウイルス(ノロウイルス代替)に対する不活化効果が極めて高かった。

(原料メーカー提供)